



田村市立瀬川小学校学校運営ビジョン



教育目標

- ともに学び合う子ども
- 思いやりのある子ども
- 進んで運動する子ども

児童の実態(〇よさ・課題)

- 素直さ、真面目さ
- 他者を認め、大切に。
- 全校生のチームワーク
- 他学年のよさを取り入れようとする姿勢
- ・困難や苦手な事へも粘り強く取り組めるようにさせたい。
- ・友達との関わり方や気持ちを伝えることが苦手な面が見られる。
- ・校外でも、相手に伝わる、自分から進んでのあいさつを心がけさせたい。
- ・自己肯定感を高めさせたい。
- ・自己の健康増進に対する意識を維持・向上させたい。

教育情勢から

1. 令和5年度学校統合への対応と小・小連携の推進
2. 学習指導要領への対応
3. 田村市教育振興推進プログラムの推進
4. 小規模校の特色を生かしたきめ細やかな教育の推進
5. 複式学級における指導の充実
6. コミュニティスクールの機能を反映
7. 新しい生活様式に基づく教育活動の推進
8. 郷土愛・愛校心を育む教育の推進

身に付けさせたい力

「目標に向かって
がんばる瀬川小児童」

確かな学力

豊かな心

健やかな体

プラス

安心・安全な学校

確かな学力の向上

【規律ある学習習慣の向上】

- ①各種検査で、県平均を超える。
- ②落ち着いた授業態度で、規律ある学習習慣を身に付ける。
- ③各教科等での言語能力の育成を図る。
- ④「授業スタンダード」で、授業力の向上を図る。
- ⑤情報活用能力を育成する。

- 授業スタンダードの共有と実践
 - ・「聴くスキル」の習得と向上
 - ・授業のユニバーサルデザイン化（スモールステップ、可視化、焦点化、動作化、言葉遣い等）
- 言語活動の充実
 - ・言語環境の向上
 - ・聴き合う活動 ・感想発表
 - ・読書タイム
- 家庭学習の充実
 - ・家庭学習の定期的な振り返り
- 活用力の育成
 - ・活用力育成シート等の活用
- 個に応じた指導の充実
 - ・朝の学習タイムの充実
 - ・全校どんぐりチャレンジ

豊かな心の育成

【思いやりの心】

- ①見通し・振り返りを大切にしたキャリア教育の充実を図る。
- ②自己理解・他者理解を通して、自己肯定感・有用感を育成する。
- ③特別の教科道徳を要としながら、集団の中での思いやりの心、助け合う心、励まし合う心の育成を図る。

- 道徳の授業の確実な実施と充実
- 生徒指導の機能を活かした授業実践
- 自他のよさを認め、協力し合える学級経営
- 学校生活アンケートの実施と適時指導（年3回：6、10、1月）
- 「田村っ子のルール10」「田村っ子 心の道標」の振り返り
- どんぐりの夢の木の実践
- 講師等を活用した体験活動、キャリア教育の充実
- 「せがわキャリアノート」での振り返り
- Q/U検査の有効活用と教育相談
- 縦割り班活動・委員会活動等での自主的活動の充実

体力・運動能力の向上

【あきらめない力】

- ①基本的な生活習慣が身に付いた子どもの育成を図る。
- ②目標の設定・振り返りの場を工夫し、自己の健康課題の解決に取り組ませる。
- ③体力・運動能力テストにおいて、全国平均をめざす。

- 運動身体づくりプログラムの確実な実施（体育時）
- 自己の健康課題についての理解と目標の設定
- 各大会等での個人記録の累積（運動への意欲の向上）
- 日常の外遊びを自主的に行わせる環境作り
- 家庭と連携したう歯や肥満の個別指導の充実
- 外部講師、施設の積極的活用
 - ・歯科保健教室 ・放射線教育
 - ・薬物乱用防止教室 ・食育
 - ・思春期保健教室など
- 家庭と連携した健康教育の充実
 - ・「メディアチャレンジデー」
 - ・「ふねひきっこ食の7カ条」

子ども、保護者、地域から信頼される学校

1. 児童や保護者の教育的ニーズを踏まえた特別支援教育の充実に努める。
(個別支援計画作成と指導、関係機関との連携)
2. 明るく、安心、安全な教育環境の整備に努める。
(教職員の不祥事〇、学校事故の未然防止、見守り隊等の関係機関との連携)
3. 家庭、地域との連携・融合を図り、地域の特性や教育力を生かした学校経営に努める。
(地域の教育資源の有効活用、体験活動の充実、小・小、小・中連携推進、情報発信、地域貢献)